

NTT ドコモ MWC Barcelona 2023 開催模様 「オープン RAN 導入の最前線」をテーマに パネルディスカッションを 2 月 27 日に開催

英 Vodafone、米 DISH Wireless、シンガポール Singtel と
ドコモ OREX エバンジェリストの安部田貞行が議論を交わす

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、2023 年 2 月 27 日（月曜）からスペイン・バルセロナで開催されている世界最大のモバイル関連展示会「MWC Barcelona 2023」に出展しています。

開催初日の 2 月 27 日（月）には、「オープン RAN 導入の最前線」をテーマにパネルディスカッションを開催し、**オープン RAN サービスブランド「OREX™」の開始**をドコモ OREX エバンジェリストの安部田 貞行が紹介しました。パネルディスカッションには安部田の他に、**ドコモがオープン RAN の導入を支援する海外通信事業者**として、英 Vodafone Group Plc（以下、ボーダフォン）より Francisco Martin 氏、米 DISH Wireless（以下、DISH）より Sidd Chenumolu 氏、シンガポールの Singtel より Cheng Choon Si 氏が登壇しました。会場には通信事業者や通信機器ベンダー、メディア関係者など多数が入場し、熱心に聴講していました。



パネルディスカッションでは、オープン RAN に関する各社の検討状況が紹介されたほか、技術検証の進捗、導入に当たっての課題などについて、活発な意見交換が行われました。また、同日発足した OREX やドコモに対して、海外の通信事業者各社が求めるものや、今後の展望・期待について語り合いました。最後に、ドコモの安部田 貞行から、**2023 年をオープン RAN の“A defining year”（オープン RAN 元年）**にしていくと力強い宣言がありました。（議論の様子は別紙をご確認ください。）

ドコモはオープン RAN の早期普及に向けて、今後も OREX をはじめとした世界中のパートナーとの連携を強化し、活発なエコシステムの創出に貢献してまいります。

*「OREX」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。

パネルディスカッションにおける主な発言

■ドコモ OREX エバンジェリスト 安部田 貞行の発言



・本日、私たちは新たなブランドとして「OREX」の開始を宣言します。OREX はオープン RAN ソリューションの提供を簡単にします。システム統合、相互運用、ライフサイクルマネジメントを簡素化することで、通信事業者は、より容易にオープン RAN を商用導入できるでしょう。

・オープン RAN の拡大には、シェアリングが重要です。私たちは、通信事業者が自ら検証をしなくても良いように、自らのラボを用意せずにリモートでアクセスできるように、「シェアドオープンラボ」を用意しています。

■DISH Vice President, Technology Development Sidd Chenumolu 氏の発言



・私たちは完全に Open RAN の流れに乗っています。オープン RAN のパフォーマンスと、実現されるエコシステムを非常に楽しみにしています。

・オープン RAN のためのシステム統合は、誰もが言及する共通の課題です。これは、私たちが乗り切らなければならないことであり、私たちの業界はその実現に自信を持つ必要があります。重要な問題ですが、選択の自由を与えてくれるものなのです。

・このイノベーションのスピードを加速させる、イノベートし続ける必要があります。オープン RAN の魅力は RIC※にあり、私たちは RIC 側にもっと力を注いでいきたいと考えています。

■Singtel VP, Technology, Strategy & Transformation Cheng Choon Si 氏の発言



・オープン RAN は、私たちにとって、そして通信業界全体にとって、より多くのベンダーを取り込み、誰もがより多くの選択肢を持てるようになる重要な技術だと考えています。私たちは、ブラウンフィールドにおけるこの技術の評価しています。シンガポールのような人口密度の高い場所で、オープン RAN の技術がどのように適用できるかを検証しているのです。

・今回発表された OREX は、とても良いアプローチだと思います。今後ドコモはこの OREX を拡大し、コストを下げていくことで業界に貢献できると考えています。

■Vodafone Head of Open RAN Francisco Martin 氏の発言



・私が今日ここにいるのは、OREX・ドコモと同じビジョンを共有しているからです。オープン RAN は実現しつつありますが、この動きを継続し、その可能性を十分に引き出すためには、互いに協力し合う必要があります。それこそが私たちの責務なのです。

・コストを下げ、潜在能力を引き出し、イノベーションを可能にするためには、今後 1,2 年で行うべきことがまだあります。以前は不可能だった、いくつかのパートナーとの協業も実現しています。パートナーとの協業により、今までできなかったイノベーションを実現できるようになるでしょう。

・オープン RAN が通信業界の未来であることに疑問はありません。そして、今まさにそれが起こっているのです。

※RIC（RAN Intelligent Controller）は、通信機器の制御や各種設定の調整を自動化・最適化し、効率化や低コスト化を図る仕組みです。

パネルディスカッションの概要

1. 実施日時

2023年2月27日（月）15:45～16:15（現地時間）

2. 会場

「MWC Barcelona 2023」 Hall 4、Broadcast Studio

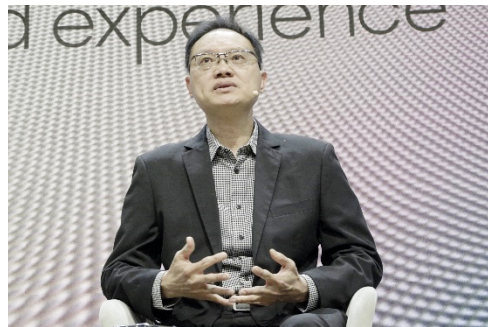
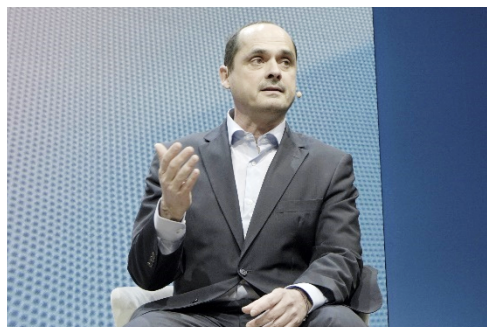
3. テーマ

On the Forefront of Open RAN Implementation（オープン RAN 導入の最前線）

4. 登壇者

- ・NTT ドコモ OREX エバンジェリスト 安部田 貞行
- ・Vodafone Head of Open RAN Francisco Martin
- ・DISH Vice President, Technology Development Sidd Chenumolu
- ・Singtel VP, Technology, Strategy & Transformation Cheng Choon Si

5. 開催模様



※パネルディスカッションの様子は「MWC Barcelona 2023」公式サイトよりご覧いただけます。

<https://www.mwcbarcelona.com/agenda/session/on-the-forefront-of-open-ran-implementation>